

文化事業調査結果 一覧

資料③

今後の取組・・・A:事業費を増加したもの B:事業費は増加しないが、内容を充実するもの C:昨年度とおおむね同様の内容で開催するもの D:事業費を削減したもの E:廃止したもの
※事業費は決算額であり、R1年度の事業予算が前年度と比して増加している場合でも、当初予算ベースで増額されていない場合は拡大としない。

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
①協働による文化活動の推進	1	草津市美術展覧会	生涯学習課	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門による公募型的美術展覧会を開催した。会期初日にはオープニングコンサートを開催した。また、草津市文化振興審議会と、展覧会の見直しについて意見交換会を行った。	1,978千円	C	出品者、来場者数が減少傾向にあり、高齢化が進んでいるため、改善を行う必要がある。また、多くの市民に親しんでいただいている秋の恒例行事となっているため、継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大により、オープニングコンサート及び作品批評会は中止とし、表彰式については規模縮小とするなど、感染対策を講じて展覧会を開催する。展覧会の見直しについて検討を進めるとともに、来年度の会場移転に向け、具体的な準備を進めていく。	2,058千円
	2	ピワアートコレクション	生涯学習課	月替わりでアーティストが、草津の文化的資産や季節をテーマにしたアートワークショップを実施。10月5日～10月18日の間、アートフェスタくさつのプレイベントとしてBIWART FESを開催し、ワークショップ、アールブリュット・地元作家の展示、ライブペイント、ライブ等によりイオンモール草津館内をアートで彩った。10月12日には、イオンモール草津と草津市の間で、文化振興に関する協定書を締結。	0	B	民間事業者、アーティストとの協働事業として、先駆的な取組みを進めることができた。今後より連携を強化し、様々な取組みを進めるため、強化とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により、ワークショップは当面の間、中止にする。在宅でもアートに親しむことができる手法や施設の活用について検討する。	0
	3	立命館びわこ講座	生涯学習課	立命館大学との共催により生涯学習の連続講座を実施した。 ・テーマ:近江を学ぶ、草津を識る 持続可能な社会に向けて～琵琶湖・草津からの発信～ ・担当講師:吉田 友彦(政策科学部 教授)、鎌谷 かおる(食マネジメント学部 准教授)、井手 慎司(滋賀県立大学 環境科学部 教授)、萩原 良信(情報理工学部 講師)、本郷 真紹(文学部教授) ・全5回(土曜日10:00～12:00)	150千円	C	自治体やサークル、仕事や趣味に生かしたい(生かしている)といった声が多く上がっており、市民の生涯における学びの機会の提供と同時に、地域を知り、地域を支える人づくりへのきっかけとなっているため、継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症対策および新しい生活様式への対応として、オンライン講座を検討、調整中。	150千円
	4	草津市民音楽祭	文化ホール	草津市を拠点として活動する公募による音楽団体の発表会を実行委員会制で運営。参加団体による『クリアで会いましょう』の大合奏を行った。	348千円	E	市民参加型の音楽会としては、プラスフェスティバル、合唱祭、ジャズフェスティバル等を開催しているため、事業整理のため廃止する。	-	-
	5	クリアプラスフェスティバル	文化ホール	市内の中学校、高校、一般バンドが一堂に会するプラスの祭典。実行委員会を組織し、企画。音楽内容の意見交換や作品についての情報交換などを指導者が計画。一般バンドと学生による合同演奏を行い、多世代間の交流を促進した。	632千円	B	一般、中学校 高校の吹奏楽の交流の場として定着しているが、不参加の学校もあるため、参加に向けたPRを検討する。	未参加の学校へ、合同演奏指揮者が事前ワークショップを行うなど、参加しやすい環境を整備する。	980千円
	6	草津市民文化祭	文化ホール	文化協会に対し、舞台演出等をアドバイスし、市民の文化活動を支援した。芸能(謡曲、邦楽、民謡、マジック等)、展示発表(華道、俳句、写真、トールペイント、ガラスアート)など様々なジャンルの文化団体が日頃の活動発表を行った。	689千円	D	団体の自主性を尊重するため、文化協会主体の事業へ移行するため、クリアホールとの共済事業とする。	文化協会が主体となり開催。	850千円
	7	草津市合唱祭	文化ホール	合唱連盟の協力により合唱祭を開催し。公募による合同合唱や合唱連盟児童合同合唱などプログラムを通じて各団体の交流を図る。 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止	689千円	C	クリアホールで開催したことにより、舞台動線や音響設備が充実し、観客数、参加団体の増加につながった。次年度は、さらに充実した事業となるよう市民の主体性を生かした事業展開を検討する。	前年度と同様の内容で実施予定。	850千円
	8	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業(未来創造セミナー等開催費)	UDCBK	産学公民連携を基礎としながら、草津市の未来を考える講座としてアーバンデザインスクール(様々な都市のアーバンデザインの事例等を学ぶこと等がテーマ等)やアーバンデザインセミナー(VRを使って草津宿本陣・東海道のこれからの考えること等がテーマ)を実施した。	515千円	C	産学公民連携を基礎として草津市の未来を考えるためには、中長期的に事業を継続していく必要があるため。	オンラインを併用しての講座を実施し、参加形式を多様化する予定。	1,142千円
	9	くさつ図書館まつり	図書館	本のリサイクル市、おはなし会、ピリオバトル、点字・音訳コーナー、書庫見学、クイズ、工作コーナーなど。読書活動を行っている市民団体のメンバーなどボランティアで構成された実行委員によって実施。図書館は事務局として運営。	30千円	C	市民実行委員会との協働事業であり、広く市民に図書館利用を誘う契機となっていることから継続して実施する。	10月の最終日曜日に開催していたが、全国読書週間期間内であり、文化の日でもある11月3日(火・祝)に開催する。内容については、今年度実行委員会内にて検討する。	30千円

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
② 文化施設の活用および充実	10	文化ホール管理運営業務	生涯学習課	指定管理期間:令和2年度~令和6年度 これまでの実績を踏まえ、指定管理者に(公財)草津市コミュニティ事業団を非公募で選定した。また、文化振興計画に基づく重点プロジェクトに協働で取り組んだ。	114,479千円	B	文化振興計画に基づく重点プロジェクトの展開に向け、連携を強化する。	13万人の文化プロジェクトの展開に向け、県からの支援を基に、役割分担をしながら各種事業に取り組む。なお、クリアホールは、改修工事のため5月~6月の間、休館する。	115,619千円
	11	(仮称)市民総合交流センターへの展示機能付加	生涯学習課	(仮称)市民総合交流センターの完成後、同施設で草津市美術展覧会が実施できるよう、仕様について関係課に要望を行った。	0	A	設計に反映できるよう、引き続き要望を行う。	展示用パネル、スポットライト等の購入を行う。	8,778千円
	12	アウトリーチ事業	文化ホール	草津市立矢倉小学校音楽鑑賞会をプロデュース。自主制作オペレッタ『青花紙のうた』と音楽コンサートの約1時間プログラムを提供(全校生対象)した。 玉川小学校6年生と保護者を対象に打楽器アンサンブルコンサートを開催した。	2,231千円	C	誰もが文化に触れる機会の充実に資する事業となっているため、地域の要望に応じ、継続して実施する。	学校や地域の要望に応じてアウトリーチを実施する。	1,400千円
	13	ロビーコンサート	文化ホール	市民プロデューサーの活用を図るため、市民がつくる無料のロビーコンサートを年6回開催。 テーマは懐かしの音楽、映画音楽など。 音源は、えふえむ草津で放送した。 出演:サウンドフリーク CREA FEELING GOOD えむえむリズム、立命館大学ジャズクラブ他	1,059千円	E	来場者が多数あり、でロビーでの開催が危機管理上困難であるため、事業形態を変更し、ホールでの開催を検討する。	-	-
③ 情報の収集および発信の充実	14	次世代文化体験プロジェクト情報発信事業	生涯学習課	-	-	-	新規	草津市教育委員会が後援している事業のうち、次世代文化体験プロジェクトに該当するものについて、該当事業をリスト化し、ホームページ、アプリ等で周知を行う。	0
	15	Youtubeを活用した公演アーカイブ事業	文化ホール	-	-	-	新規	過去のコンサート等を無料で配信。自主事業、年間ダイジェスト版の紹介だけでなく、参加型のプログラムを配信。	900千円
	16	アートセンターニュース	文化ホール	アートセンターニュースとして毎月発行。事業実施予定からアミカホール、クリアホール両館の貸館情報までを掲載。 市内公共施設、県内文化ホール等に配架。	453千円	C	文化ホールの事業周知に繋がっているため、継続して実施する。	月ごとの催しだけでなく、年間予定も合わせて掲載する。	503千円
	17	立命館大学インターンシップ	文化ホール	大学生がラジオを通してクリアホールやアミカホールの事業を紹介。地域の商業施設で公開番組を制作しPRを行った。パーソナリティー、デレクター体験の他、ラジオ体験コーナーなどを担当。	0	E	立命館大学との協議により、受入れが中止になることから廃止する。	-	-

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
④文化活動を担う人材の育成および活用	18	クリエイターズマーケット	生涯学習課	展示／販売／ワークショップの他、食のマルシェやライブなど県内外で活躍するアーティスト、クリエイターによる出店を行った。 作家13組、飲食：17組、パフォーマンス：5組	アートフェスタに含む	C	来場者数は増加傾向にあり、事業効果が高まっている。今後も市民とアーティスト、アーティスト間の交流が広がるよう、継続して実施する。	昨年度と同様の内容で実施予定だが、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。	アートフェスタに含む
	19	ロジウラテラス	生涯学習課	街道の路地裏に集まるお寺4カ所を舞台に、ワークショップやライブなどの参加型アートプログラムを実施した。また、ロジウラクエスト(謎解きラリー)も同時に開催し、同エリアの回遊性を高めた。	アートフェスタに含む	C	多くの来場があり、事業効果があると考えられるため、今後も寺院の立地を活かした文化体験の機会を提供できるよう、事業を継続する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。	アートフェスタに含む
	20	アートセンター	文化ホール	アウトリーチの他、市主催事業や地域のイベントにおける出演者のコーディネート、プロデュース、アドバイスをを行った。また、渋川学区より相談を受け、地域独自の歌、音頭の製作協力を行った。	1,801千円	C	アートセンターが定着しつつあることから、市民のニーズに応えられる人材の育成に努め、アートのインフォメーション機能を充実させる。	人材育成に努め、地域の相談、アーティスト登録、コーディネート、プロデュースなどの業務を充実させる。	1,400千円
	21	Jazz Festival in crea	文化ホール	立命館大学JAZZZクラブと、市内の社会人バンドが中心となり世代を超えたジャズフェスティバルを開催。 出演：立命館大学ジャズクラブ、サウンドフリーク、リスボン島先、高木恒太、伊藤輝雄 戸田代武、寺田稜太郎 前畑聡	621千円	C	身近なジャズフェスとして定着しており、多世代間の交流にもつながっていることから継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により運営主体である立命館大学ジャズクラブが活動を見合わせているため中止とする。	720千円
	22	ウィークエンドコンサート	文化ホール	草津出身、ゆかりのアーティストとゲストを迎えたコンサート。地元吹奏楽団などコラボレーションプログラムも企画。 9/20 アミカウィークエンドコンサート 出演：武田可奈美、中村歌奈 3/7 クレアスプリングコンサート 出演：稲垣聡、新垣隆、草津吹奏楽団他 ※クリアホールの公演は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	2,195千円	C	安価でプロアーティストによるコンサートを鑑賞する機会として市民に親しまれていることから、継続して実施する。	前年度と同出演者による延期公演として開催。	2,850千円
	23	青花紙担い手セミナー	草津宿街道交流館	草津あおばな会と共催で「あおばな紙担い手セミナー」を実施し、青花紙生産農家・滋賀県立湖南農業高等学校の指導を受けながら、アオバナの栽培や青花紙の生産について、一般の方に学んでいただいた。	0	C	文化的資産の担い手を育成することが必要であることから、継続して実施する。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止	0
	(2)	〔再掲〕ピワアートコレクション	生涯学習課	月替わりでアーティストが、草津の文化的資産や季節をテーマにしたアートワークショップを実施。10月5日～10月18日の間、アートフェスタくさつのイベントとしてBIVART FESを開催し、ワークショップ、アールブリュット・地元作家の展示、ライブイベント、ライブ等によりイオンモール草津館内をアートで彩った。10月12日には、イオンモール草津と草津市の間で、文化振興に関する協定書を締結。	0	B	民間事業者、アーティストとの協働事業として、先駆的な取組みを進めることができた。今後より連携を強化し、様々な取組みを進めるため、強化とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により、ワークショップは当面の間、中止にする。在宅でもアートに親しむことができる手法や施設の活用について検討する。	0
	(3)	〔再掲〕立命館びわこ講座	生涯学習課	立命館大学との共催により生涯学習の連続講座を実施した。 ・テーマ：近江を学ぶ、草津を識る 持続可能な社会に向けて～琵琶湖・草津からの発信～ ・担当講師：吉田 彦彦(政策科学部 教授)、鎌谷 かおる(食マネジメント学部 准教授)、井手 慎司(滋賀県立大学 環境科学部 教授)、萩原 良信(情報理工学部 講師)、本郷 真紹(文学部教授) ・全5回(土曜日10:00～12:00)	150千円	C	自治体やサークル、仕事や趣味に生かしたい(生かしている)といった声が多く上がっており、市民の生涯における学びの機会の提供と同時に、地域を知り、地域を支える人づくりへのきっかけとなっているため、継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症対策および新しい生活様式への対応として、オンライン講座を検討、調整中。	150千円
	(4)	〔再掲〕草津市民音楽祭	文化ホール	草津市を拠点として活動する公募による音楽団体の発表会を実行委員会制で運営。 参加団体による『クリアで会いましょう』の大合奏を行った。	348千円	E	市民参加型の音楽会としては、プラスフェスティバル、合唱祭、ジャズフェスティバル等を開催しているため、事業整理のため廃止する。	-	-
	(7)	〔再掲〕草津市合唱祭	文化ホール	合唱連盟の協力により合唱祭を開催し、公募による合同合唱や合唱連盟児童合同合唱などプログラムを通じて各団体の交流を図る。 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止	689千円	C	クリアホールで開催したことにより、舞台動線や音響設備が充実し、観客数、参加団体の増加につながった。次年度は、さらに充実した事業となるよう市民の主体性を生かした事業展開を検討する。	前年度と同様の内容で実施予定。	850千円
	(13)	〔再掲〕ロビーコンサート	文化ホール	市民プロデューサーの活用を図るため、市民がつくる無料のロビーコンサートを年6回開催。 テーマは懐かしの音楽、映画音楽など。 音源は、えふえむ草津で放送した。 出演：サウンドフリーク CREA FEELING GOOD えむえむリズム、立命館大学ジャズクラブ他	1,059千円	E	来場者が多数あり、でロビーでの開催が危機管理上困難であるため、事業形態を変更し、ホールでの開催を検討する。	-	-
	(17)	〔再掲〕立命館大学インターンシップ	文化ホール	大学生がラジオを通してクリアホールやアミカホールの事業を紹介。地域の商業施設で公開番組を制作しPRを行った。パーソナリティ、ディレクター体験の他、ラジオ体験コーナーなどを担当。	0	E	立命館大学との協議により、受入れが中止になることから廃止する。	-	-

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑤ 子どもおよび若者の文化活動の充実	24	アートフェスタくさつ	生涯学習課	市内の文化団体を網羅する草津21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象(大人も参加可)としたアートワークショップを実施した。主な出店団体は、市内の文化団体の他、県立近代美術館、県立陶芸の森、MIHO MUSEUM、草津宿街道交流館、立命館大学学生サークル等	1,545千円	C	来場者数は増加傾向にあり、事業効果が高まっている。今後も市民の交流や、子どもが文化芸術に触れる機会を提供できるよう継続して実施する。	昨年度と同様の内容で実施予定だが、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。	1,545千円
	25	キッズシネマ塾	生涯学習課	一般社団法人草津に美しい文化芸術を育む会へ委託し、草津の歴史文化、産業などを題材に、小学生が本物の機材を使用した映画撮影に携わる「キッズシネマ塾」を開催した。2日間にわたり開講し、受講者には、映画づくりを通して、湖上交通と風の神様をまつ市内の神社や文化財について学びを深めてもらった。また、後日、上映会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	1,242千円	C	受講した子どもたちからは好評の声をいただいております。草津の文化や歴史を学ぶ機会を提供できるため、今後も継続して事業を実施する。	今年度は草津の竹の歴史をテーマにキッズシネマ塾を開講する。	1,265千円
	26	市民創作ミュージカル	文化ホール	クレアホール開館5周年記念として、市民から募集した原案を元に、宝塚歌劇団演出家が脚本を書きおろし、演出したミュージカルを企画。活動期間内は、平和記念のつどい、ピワアートコレクション等の市関係イベントに参加する他、滋賀県主催のBAFIにも参加した。 ※本公演は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期。	6,424千円	C	単にミュージカルを発表するだけでなく、草津を紹介し、まちづくりに参加するチームとして育成しており、地域のイベントからのオファーが絶えずニーズがあることから、継続して実施する。	前年度に延期した『草津みずの森エクスプレス〜ここはクレア高原〜』公演を実施するとともに、5期生も募集する。活動は、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら工夫して安全に行う。	6,973千円
	27	ブックトークコンサート	文化ホール	「ワクワクこどもの広場」の関連事業として開催。映像によるお話しと音楽、歌のおねえさん、草津歌劇団と地元玉川ウインドオーケストラによるファミリーコンサートショーを開催。	584千円	E	当初は、絵本の読み聞かせとして実施し、年々形態を変え開催してきたが、自主製作プログラムが蓄積し、一定役目を終えたと考えるため、事業整理のため廃止する。	-	-
	28	ワクワクこどもの広場	文化ホール	クレアホール全館を使った工作、スポーツ、職業体験などの体験ワークショップを開催。	602千円	D	体験型のプログラムが好評であるため、今後、隔年での開催を検討する。	R2は未実施の年度である。	0
	29	教育プログラム事業	草津宿街道交流館	本陣四季彩々で子ども向けクイズラリー、競技かるた体験を開催したほか、草津まちづくり株式会社と共催でリアル謎解きイベント「草津宿本陣調査隊」を行った。また、イオンモールでのBIWART COLLECTION、「アートフェスタくさつ」などの外部イベントにも出展した。	0	C	地域の歴史文化に親しんでもらうため、引き続き、子ども向け事業を実施していく。	引き続き、他事業と関連して子ども向けにもイベント企画・普及啓発を行っていく。	0
	30	子ども読書講演会	図書館	絵の本あれこれ研究家の加藤啓子さんをお招きし、「絵本のひろば〜みんなで味わう絵を読むのしきおもしろさ〜」と題して講演会を行った。参加者の方には、読み聞かせとは違う「ひろば読み」の魅力を体感していただいた。	30千円	C	本や読書に興味をもってもらう契機となる事業であり、継続して行っていく。	アンケート等を参考にしながら講演者を決定する。	30千円
	31	子どもの本の教室	南草津図書館	子どもの読書への興味・関心、図書館への来館のきっかけづくりとして、子どもの本の教室「児童文学作家楠草子さん講演会」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止した。	50千円	C	子どもの読書への興味・関心、図書館への来館のきっかけづくりとするため継続して実施する。	関心を持ってもらえるテーマや参加しやすい日程を設定し、また感染症予防に配慮しつつ実施する。	50千円
	(5)	〔再掲〕クレアプラスフェスティバル	文化ホール	市内の中学校、高校、一般バンドが一堂に会するプラスの祭典。実行委員会を組織し、企画。音楽内容の意見交換や作品についての情報交換などを指導者が計画。一般バンドと学生による合同演奏を行い、多世代間の交流を促進した。	632千円	B	一般、中学校 高校の吹奏楽の交流の場として定着しているが、不参加の学校もあるため、参加に向けたPR等を検討する。	未参加の学校へ、合同演奏指揮者が事前ワークショップを行うなど、参加しやすい環境を整備する。	980千円
	(14)	〔再掲〕次世代文化体験プロジェクト情報発信事業	生涯学習課			-	新規	草津市教育委員会が後援している事業のうち、次世代文化体験プロジェクトに該当するものについて、該当事業をリスト化し、ホームページ、アプリ等で周知を行う。	0
(21)	〔再掲〕Jazz Festival in crea	文化ホール	立命館大学JAZZZクラブと、市内の社会人バンドが中心となり世代を超えたジャズフェスティバルを開催。 出演：立命館大学ジャズクラブ、サウンドフリーク、リスボン島先、高木恒太、伊藤輝雄 戸田代武、寺田稜太郎 前畑聡	621千円	C	身近なジャズフェスとして定着しており、多世代間の交流にもつながっていることから継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により運営主体である立命館大学ジャズクラブが活動を見合わせているため中止とする。	720千円	

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑥ 高齢者、障害者等の文化活動の充実	32	重点プロジェクトプレ事業	生涯学習課	ゆいま〜る未来主催「かがやくいのち展」に共催。事前の趣旨説明、座席配置、演目等、障害者の方が必要とする配慮について学ぶ契機とした。 なお、予定していた障害者福祉施設および公共空間でのコンサートは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。	177千円	E	R2年度は、本格実施の年であるため、プレ事業は廃止する。	-	-
	33	街角プレミアムステージ	生涯学習課	-	-	-	新規	文化ホール、市生涯学習課、市内障害福祉団体と連携体制を構築し、プログラムを作成する。駅前でのコンサートを2回開催予定。	690千円
	34	おでかけコンサート	生涯学習課	-	-	-	新規	文化ホール、市生涯学習課、市内障害者福祉団体と連携体制を構築し、プログラムを作成する。障害者福祉施設でのコンサートを2回開催予定。	832千円
	35	みんなの音楽会	文化ホール	クレアホール開館5周年記念として、スタジオジブリの映画音楽をオーケストラで楽しむコンサートを開催した。 出演者：木村弓、井上あずみ、N響団友オーケストラ他	4,959千円	A	クリスマス時期の音楽会として定着し、幅広い年齢層の市民の楽しみとなっている。令和2年度は、13万人の文化プロジェクトの一つとして位置付けるため、拡大する。	13万人の文化プロジェクトの一つとして、身近にオーケストラを楽しめるバリアフリーの音楽会を開催する。	5,293千円
	36	草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	米国ミシガン州ポンティアック市、中国上海市徐匯区の使節団を受け入れ、国際交流の推進に努めた。また、継続して日本語教室の開催や指導者の育成のための研修を実施し、日本語教育の充実を図ると同時に、外国人住民向けに「法律ハンドブック」の英語版とやさしい日本語版の作成(各2,000部)を行うなど、コミュニケーション支援に努めた。	6,487千円	A	今後の外国人住民の増加を見据え、草津市多文化共生推進プランを策定し、多文化共生の更なる推進を図るため。	今後の外国人住民の増加を見据え、日本語教室の拡大に向けて手法を検討する。また、UDCBKや立命館大学と連携し、多文化交流会やセミナーを開催し、外国人住民の意見を「草津市多文化共生推進プラン(令和2年度策定)」に反映させるとともに、外国人コミュニティの形成や、外国人住民の地域社会への参加促進に努める。	6,746千円
	37	文化教養講座	障害福祉課	障害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。(絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等) (3月は新型コロナウイルスの影響のため未実施)	765千円	C	障害者の社会参加・地域交流の促進のため必要な事業であるため、継続して実施する。	講座内容の充実を図るため、実施講座および回数の見直しを行う。	983千円
	38	サマーフェスティバル	子育て相談センター	ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しんだ。	50千円	E	「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化するため廃止する。	-	-
	39	特別講座	子育て相談センター	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。また、「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化し、事業費を増大することで事業内容の充実を図る。	50千円	A	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。また、「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化し、事業費を増大することで事業内容の充実を図る。	前年度まで実施していた「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化し、ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しむ。	100千円

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑦ 学校等における文化活動の充実	40	草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校(14校)5、6年生および中学校(市立6校、私立1校)全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一句投句してもらった。小・中合わせて入賞作品100句には、賞状を贈り、さらに、優秀作品については記念品を贈った。また、10月下旬に市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表した。	237千円	C	学校を通じて投句を募集することで、多くの子どもたちからの応募があり、ふるさと意識の醸成や国語教育の充実につながっていることから継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	264千円
	41	学校アート化計画	生涯学習課	草津市文化振興計画における重点プロジェクトに設定している次世代文化体験プロジェクトに繋がるモデル事業として実施。こども園にアート作品を設置し、子どもたちの変化や反応を観察し、アートが教育にもたらす効果について検証した。	0	B	検証を終えたため、保育の実践につながるアートの取組を検討する。	滋賀大学教育学部の藤田教授の協力のもと、園児の創作活動に役立てる研修を企画する。	0
	42	アミカウェルカムコンサート	文化ホール	ヒアリングの流れから草津中学校特別支援学級の生徒11名をアミカホールに招待。事前に生徒たちの好きな曲や、必要な配慮等について協議を行い、アーティストによる演奏、アルハープ等の楽器の体験、合奏等を行った。	96千円	B	初めて文化ホールに来場した生徒が多く、生徒、担任から好評を得たため、生徒が安心して鑑賞できる環境に配慮しながら、他校にも広げられるよう検討する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事が縮小しているため、学校に配慮しながら開催を検討する。	272千円
	43	劇団四季 こころの劇場	文化ホール	市内小学6年生を対象にした芸術鑑賞会として開催。「カモメに飛ぶことを教えた猫」を2公演行い、市内11小学校の事業が鑑賞を行った。学校が参加しやすいよう無料の送迎バスの運行と給食提供を行った。	1,080千円	C	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、入場制限をかけて開催することを検討する。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、入場制限をかけて開催することを検討する。	1,550千円
	44	博学連携事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館、史跡草津宿本陣への学校単位での見学を受け入れ、テーマ展に関連する出前授業を開催した。また、中学校職場体験を受け入れた。	0	C	引き続き、学校教育の中で市の歴史資産を活用してもらうため継続して実施する。	前年に引き続き、学校単位での見学を受け入れるほか、コロナウイルス感染防止の観点から、対面でない方法での情報発信を検討する。	0
	45	巡回図書「ブックん」の配本	図書館	「環境と算数」、「滋賀県の作家」、「写真集と絵本」、「国語の教科書に出てくる本」等のセットを市内14小学校へ学期毎に巡回し、授業や学校図書館等で活用いただいた。	0	C	より子どもたちや先生方が利用しやすいセット内容にするため、セットの本の入れ替えを行う。	昨年度実施した学校の図書担当の先生方へのアンケートに基づき、新しいセット内容の検討を行う。	0
	46	出張ブックトーク	図書館	司書が学校へ出向き、一つのテーマでいるんなジャンルの本を紹介することで、子どもたちの読書欲求の掘り起こしと読書領域を広げる役割を果たした。また本の紹介の仕方の参考として、児童・生徒たちによるビブリオバトルにも役立った。	0	C	まだ出張ブックトークを実施していない学校への働きかけを行いつつ、引き続き実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	0
	47	くさつビブリオバトル	学校政策推進課	一般、大学生は1人5分、小中学生は1人3分の持ち時間で参加者にお気に入りの本を紹介し、最も読みたい1冊を聴衆が投票する書評合戦。一般の部、大学生の部、英語の部、小中学校の部の4部門で開催。	40千円	B	H25より事業を開始し、3年目からは市内小中学校全てから出場者があつたり、それぞれの学校で校内ビブリオバトルを年間指導計画に位置付けたりする等、市内小中学校での取組の定着が見られるようになってきた。そのような中で、これまで一般の出場者のみであった「英語の部」に、中学生を中心として子どもの参加に向けて積極的に取り組んでいくため。	市立6中学校の生徒を中心に、英語科の授業で学習したことを活かし、言語活動の機会の一つとして、「英語の部」に積極的にエントリーしていく予定。	40千円
	48	草津市青少年美術展覧会	学校政策推進課	本市小・中学校から平面・立体・書写作品を、幼稚園や保育所などから平面・立体作品を草津市役所2階特大会議室展示し、広く一般に公開した。また、推奨作品を草津市のホームページに「草津市青少年美術展推奨作品集」として掲載した。	407千円	C	57回続く草津市青少年美術展覧会は、草津市の子どもたちだけではなく、広く市民に認知され、継続への期待が大きいことから継続して実施する。	搬入の時間帯を、ブース別に分けて設定し、会場に入って作業する人数を減らすことで、スムーズに会場内を動けるようにするとともに、(現時点における)新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、配慮できるようにする。	391千円
	(12)	[再掲]アウトリーチ事業	文化ホール	草津市立矢倉小学校音楽鑑賞会をプロデュース。自主制作オペレッタ『青花紙のうた』と音楽コンサートの約1時間プログラムを提供(全校生対象)した。玉川小学校6年生と保護者を対象に打楽器アンサンブルコンサートを開催した。	2,231千円	C	誰もが文化に触れる機会の充実に資する事業となっているため、地域の要望に応じ、継続して実施する。	学校や地域の要望に応じてアウトリーチを実施する。	1,400千円

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑧文化によるまちづくりの推進	49	星降る映画館	生涯学習課	草津川跡地公園de愛ひろばのイベントスペースを活用して、屋外映画館を実施した。子どもが楽しめる映画として「ベット」、子どもも大人も楽しめる映画として「キートンの探偵学入門」の2作品を上映した。上映前にはライブパフォーマンスを開催し、わくわく体験広場等との隙間の時間を埋め、映画への期待感を高めた。	1,397千円	C	市外からの来場者も多く、草津市のPR及び中心市街地の活性化につながっていることから、継続して事業を実施する。	雨天時の開催場所として、アマカホールを使用する。	1,397千円
	50	草津宿場まつり	商工観光労政課	本市の春のイベントとして定着しており、宿場町・草津を市内外にアピールする効果が得られているため、引き続き継続して実施する。	13,500千円	C	本市の春のイベントとして定着しており、宿場町・草津を市内外にアピールする効果が得られているため、引き続き継続して実施する。	第52回草津宿場まつりの開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催を中止することが草津宿場まつり実行委員会の中で決定した。新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり次第、第53回草津宿場まつり開催に向け、実行委員会の中で検討していく予定である。	13,500千円
	51	草津街あかり華あかり夢あかり	商工観光労政課	あかり銀河、あかりART展、陰影礼賛、トワイライトコンサートなどの各種取組を実施した。	3,300千円	C	秋の風物詩として定着しつつあるイベントで、普段とは違ったまちの景色を楽しみながら、地域の魅力を再発見し、愛着を持ってもらうことで地域ならびに商店街の活性化に繋げるため、継続して実施する。	今後、実行委員会の中で事業計画等検討していく	3,300千円
	52	草津版ヘルスツーリズム実証事業	商工観光労政課	本市における着地型観光の商品化を目指し、市内事業者が参画して8つの商品を造成し、観光資源の発掘・磨き上げを行った。8つのうち3つは事業を実施したが、5つについては新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業実施を見送った。	4,000千円	B	造成する商品を増やし、将来的に草津市観光物産協会が運営主体となって事業が継続して実施できるよう、商品造成および観光資源の磨き上げを行い、運営体制を整える。	これまでは民間事業者へ委託業務として発注をしていたが、令和2年度からは草津市観光物産協会が主となり商品を造成し、造成する商品を8から20に増やすことで、更なる観光資源の発掘・磨き上げを行う。	576千円
	53	出会いバス運行事業	商工観光労政課	常盤まちづくりセンターを発着地とし、周辺の観光スポットや藤を見ることが出来る巡回バスの運行を行った。	382千円	B	滋賀県が実施している戦国ワンダーランドとの連携や、歴史文化財課と連携して取り組むことにより更なる観光客の誘致を検討する。	R1に実施した内容を踏まえ、運行するコースの見直し、滋賀県が大型キャンペーンとして実施している「戦国ワンダーランド」と連携など模索したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった。	382千円
	54	みんなdeつなご 草津まちイルミ	都市再生課	夜の草津を回遊してもらうため、草津駅周辺の商業施設と協力し、まちなかをイルミネーションで彩るとともに、スタンプラリーを実施し駅周辺を散策してもらえる仕掛けづくりを行った。	2,000千円	C	イベントを毎年開催することで、草津の冬の風物詩として定着しているため、引き続き継続していく。	イルミネーションの設置位置の見直し、新設、増設や来場者参加型のイベントについて、草津市中心市街地活性化協議会の草津駅前賑わい創出プロジェクトにて検討を行う。	2,000千円
	55	草津小市	都市再生課	農家や生産者直売の野菜、米、卵、豆腐のほかに、作家の木工カトラリー、アクセサリなどの販売を行った。また、しめ縄づくりや食のワークショップを行い、東海道草津宿の歴史話などをえふえむ草津でラジオ生放送した。	831千円	C	昨年度も好評であり、本陣周辺エリアにおける賑わい創出に寄与しているため、イベント内容の精査を行いながら、継続して実施予定。	出店者やイベント内容の精査を行う。	800千円
	(32)	〔再掲〕重点プロジェクト事業	生涯学習課	ゆいま〜る未来主催「かがやくいのち展」に共催。事前の趣旨説明、座席配置、演目等、障害者の方が必要とする配慮について学ぶ契機とした。なお、予定していた障害者福祉説および公共空間でのコンサートは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。	177千円	E	R2年度は、本格実施の年であるため、本事業は廃止する。	-	-
	(33)	〔再掲〕街角プレミアムステージ	生涯学習課	-	-	-	新規	文化ホール、市生涯学習課、市内障害福祉団体と連携体制を構築し、プログラムを作成する。駅前でのコンサートを2回開催予定。	690千円
	(34)	〔再掲〕おでかけコンサート	生涯学習課	-	-	-	新規	文化ホール、市生涯学習課、市内障害福祉団体と連携体制を構築し、プログラムを作成する。障害者福祉施設でのコンサートを2回開催予定。	832千円
	(35)	〔再掲〕みんなの音楽会	文化ホール	クレアホール開館5周年記念として、スタジオジブリの映画音楽をオーケストラで楽しむコンサートを開催した。 出演者：木村弓、井上あずみ、N響団友オーケストラ他	4,959千円	A	クリスマス時期の音楽会として定着し、幅広い年齢層の市民の楽しみとなっている。令和2年度は、13万人の文化プロジェクトの一つとして位置付けるため、拡大する。	13万人の文化プロジェクトの一つとして、身近にオーケストラを楽しめるバリアフリーの音楽会を開催する。	5,293千円
	(37)	〔再掲〕文化教養講座	障害福祉課	障害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。(絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等) (3月は新型コロナウイルスの影響のため未実施)	765千円	C	障害者の社会参加・地域交流の促進のため必要な事業であるため、継続して実施する。	講座内容の充実を図るため、実施講座および回数の見直しを行う。	983千円
	(38)	〔再掲〕サマーフェスティバル	子育て相談センター	ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しんだ。	50千円	E	「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化するため廃止する。	-	-
	(39)	〔再掲〕特別講座	子育て相談センター	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。また、「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化し、事業費を増大することで事業内容の充実を図る。	50千円	A	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。また、「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化し、事業費を増大することで事業内容の充実を図る。	前年度まで実施していた「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化し、ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しむ。	100千円

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
	(41)	[再掲]学校アート化計画	生涯学習課	草津市文化振興計画における重点プロジェクトに設定している次世代文化体験プロジェクトに繋がるモデル事業として実施。こども園にアート作品を設置し、子どもたちの変化や反応を観察し、アートが教育にもたらす効果について検証した。	0	B	検証を終えたため、保育の実践につながるアートの取組を検討する。	滋賀大学教育学部の藤田教授の協力のもと、園児の創作活動に役立てる研修を企画する。	0
	(42)	[再掲]アミカウェルカムコンサート	文化ホール	初めて文化ホールに来場した生徒が多く、生徒、担任から好評を得たため、生徒が安心して鑑賞できる環境に配慮しながら、他校にも広げられるよう検討する。	96千円	B	生徒、担任から好評を得たため、生徒が安心して鑑賞できる環境に配慮しながら、他校にも広げられるよう検討する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事が縮小しているため、学校に配慮しながら開催を検討する。	272千円
⑨文化を通じた出会いおよび交流の創出	56	アミカ&クレアで会いましょう	文化ホール	—	—	-	新規	HPから楽譜、音源をダウンロードし、自宅からリモート音楽会に参加できるプログラム提供。録画した映像を投稿することで、映像上でのアーティストとの共演や、ジャンルを超えた交流および発表の場を提供する。 課題楽曲:「アミカで会いましょう」「クレアで会いましょう」	1,931千円
	57	みなくさまつり	商工観光労政課	立命館大学、企業・団体、地域、消防などのブースや、くさつピリオパトルなどの各種取組を実施した。	2,300千円	B	令和2年度は当まつりが開催10周年を迎え、盛大にイベントを開催する予定であるため。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。 令和2年度はみなくさまつり10周年であるため、内容等をバージョンアップをした形で実施する。	2,500千円
	(8)	[再掲]アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業 (未来創造セミナー等開催費)	UDCBK	産学公民連携を基礎としながら、草津市の未来を考える講座としてアーバンデザインスクール(様々な都市のアーバンデザインの事例等を学ぶこと等がテーマ等)やアーバンデザインセミナー(VRを使って草津宿本陣・東海道のこれからの考えること等がテーマ)を実施した。	515千円	C	産学公民連携を基礎として草津市の未来を考えるためには、中長期的に事業を継続していく必要があるため。	オンラインを併用しての講座を実施し、参加形式を多様化する予定。	1,142千円
	(18)	[再掲]クリエイターズマーケット	生涯学習課	展示/販売/ワークショップの他、食のマルシェやライブなど県内外で活躍するアーティスト、クリエイターによる出店を行った。 作家13組、飲食:17組、パフォーマンス:5組	アートフェスタに含む	C	来場者数は増加傾向にあり、事業効果が高まっている。今後も市民とアーティスト、アーティスト間の交流が広がるよう、継続して実施する。	昨年度と同様の内容で実施予定だが、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。	アートフェスタに含む
	(24)	[再掲]アートフェスタくさつ	生涯学習課	市内の文化団体を網羅する草津21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象(大人も参加可)としたアートワークショップを実施した。主な出店団体は、市内の文化団体の他、県立近代美術館、県立陶芸の森、MIHO MUSEUM、草津宿街道交流館、立命館大学学生サークル等	1,545千円	C	来場者数は増加傾向にあり、事業効果が高まっている。今後も市民の交流や、子どもが文化芸術に触れる機会を提供できるよう継続して実施する。	昨年度と同様の内容で実施予定だが、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。	1,545千円
	(36)	[再掲]草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	米国ミンガン州ポンティアック市、中国上海市徐匯区の使節団を受け入れ、国際交流の推進に努めた。また、継続して日本語教室の開催や指導者の育成のための研修を実施し、日本語教育の充実を図ると同時に、外国人住民向けに「法律ハンドブック」の英語版とやさしい日本語版の作成(各2,000部)を行うなど、コミュニケーション支援に努めた。	6,487千円	A	今後の外国人住民の増加を見据え、草津市多文化共生推進プランを策定し、多文化共生の更なる推進を図るため。	今後の外国人住民の増加を見据え、日本語教室の拡大に向けて手法を検討する。また、UDCBKや立命館大学と連携し、多文化交流会やセミナーを開催し、外国人住民の意見を「草津市多文化共生推進プラン(令和2年度策定)」に反映させるとともに、外国人コミュニティの形成や、外国人住民の地域社会への参加促進に努める。	6,746千円
(47)	[再掲]くさつピリオパトル	学校政策推進課	一般、大学生は1人5分、小中学生は1人3分の持ち時間で参加者にお気に入りの本を紹介し、最も読みたい1冊を聴衆が投票する書評合戦。一般の部、大学生の部、英語の部、小中学校の部の4部門で開催。	40千円	B	H25より事業を開始し、3年目からは市内小中学校全てから出場者があったり、それぞれの学校で校内ピリオパトルを年間指導計画に位置付けたりする等、市内小中学校での取組の定着が見られるようになってきた。そのような中で、これまで一般の出場者のみであった「英語の部」に、中学生を中心として子どもの参加に向けて積極的に取り組んでいくため。	市立6中学校の生徒を中心に、英語科の授業で学習したことを活かし、言語活動の機会の一つとして、「英語の部」に積極的にエントリーしていく予定。	40千円	

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑩ 文化 め	58	俳句入門講座	生涯学習課	初心者を対象に、俳句の基礎を学ぶ全4回の連続講座を開催予定だったが、コロナウイルス感染症の拡大防止のため第3回・第4回が中止となった。	53千円	C	受講者による新句会が設立されており、俳句人口の拡大につながっていることから、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	53千円
	59	ふるさと草津俳句会	生涯学習課	年4回、広報くさつや地域まちづくりセンター等において投句を募集し、広報くさつにおいて優秀作を発表する。	37千円	C	広報紙の紙面を活用していることで、毎回、多数の市民から応募があり、俳句のまちづくり事業のPRIにつながっていることから、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	40千円
	60	草津あおばな会運営費補助事業	農林水産課	①「第15回草津あおばなフェスタ」(R1.7.6イオンモール草津) あおばな絞染め体験やおおばなを使った押し花作品、塗り絵体験、あおばな商品の販売等、草津市の花「あおばな」の魅力を体感していただいた。 ②「花摘み＆染め物ワークショップ」(R1.7.27 芦浦教育集会所) 初めての試みとして、参加者が摘んだあおばなでストールを染めるワークショップを開催した。 ③「あおばな紙担い手セミナー」(5月～1月 湖南農業高等学校他)の開催。 ④市関係施設への啓発用あおばな苗配布や啓発冊子の作成・配布。	600千円	C	初めての試みとして「花摘み＆染め物ワークショップ」を実施し、さらに多くの市民に草津市の花「あおばな」を知っていただけた。今後もあおばなの歴史や魅力を伝えるため、継続して事業実施を行う。	①新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮しながら、各種イベントの開催や青花紙保存部会の運営支援等を行う。 ②啓発冊子の改訂(通年)	600千円
	61	文化財保護助成事業	歴史文化財課	指定文化財所有者および管理者に対し、文化財保存管理に係る補助を行い、当該文化財の保護継承等を図った。	1,876千円	C	文化財保護助成事業は、地域の貴重な文化財を適切に保存・活用するうえで必要であるため、今後も積極的に事業を進めていく必要があるため、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	1,661千円
	62	くさつ・歴史発見塾開催事業	草津宿街道交流館	各回の講義内容を、当館の開館20周年記念展各テーマ展の内容(草津の歴史・民俗・考古)に関連させることで、草津の歴史文化について様々な角度から学べるものとするとともに、各展示への理解を深められるものとした。それに伴って昨年度までは冬季に集中開催していたが、今回はテーマ展会期と時期を合わせるため各回の開催を通年に分散させ、より多くの方に参加していただくために会場も草津宿街道交流館のほか、史跡草津宿本陣、草津市立市民交流プラザを利用した。	160千円	C	引き続き、より深い学びの機会を提供し、多くの方に向け近江・草津の歴史文化を中心とした普及啓発を行っていくため継続して実施する。	昨年度までは冬季に集中開催していたが、開催時期を通年に分散させ、より多くの方に参加していただくため会場も草津宿街道交流館のほか、史跡草津宿本陣、草津市立市民交流プラザを利用するとともに、利用しやすい時間帯を設定する。	160千円
	63	草津宿街道交流館テーマ展開催事業	草津宿街道交流館	令和元年度は、開館20周年の年にあたることから「草津市立草津宿街道交流館開館20周年記念「大草津展」」として、通常より規模を拡大し、展示のみならず、関連イベントなども多数開催した。 ①【歴史編】東海道草津宿～街道と旅の資料から～(R1.6.1～R1.7.15) ②【民俗編】くさつを彩る舞～風流踊りの系譜～(R1.10.5～R1.11.17) ③【考古編】くさつ遺物がたり～土の中からのおくりもの～(R1.12.7～R2.1.26) その他 ④速報展「草津宿本陣の“わすれもの”」(R1.8.1～R1.8.18) ⑤くさつ・村の古文書を読む 草津に伝わる戦国時代(R2.3.20～R2.4.10)	2,209千円	D	昨年度は開館20周年の年であったため、通常より規模を拡大して事業を実施したが、R2年度は例年通りの規模に戻すため縮小する。	例年通りの規模に戻るとともに新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休館期間を受けて、テーマ展をひとつ中止とした。	1,078千円
	64	草津宿本陣歴史資料調査	草津宿街道交流館	草津宿本陣に残る歴史資料の調査を実施する。4か年計画で有識者による調査委員会を設置し、調査員・調査補助員を置いて、資料全体の整理・調査を行った。	2,050千円	C	引き続き、草津宿本陣に残る歴史資料の調査を実施するため継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	2,111千円
	65	草津宿本陣結婚式	草津宿街道交流館	草津市観光物産協会に加盟するホテルが、結婚式の前撮りの撮影を史跡草津宿本陣で行なった。	0	C	結婚式の前撮りなどの需要が高く、今後も史跡草津宿本陣に親しみを持ってもらう機会として期待できるため継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	0
	66	史跡草津宿本陣 特別開館「ほんじんナイトミュージアム！」	史跡草津宿本陣	草津納涼まつりの休止を受け、本陣内で夜間に影絵を上映するイベントを行った(8月17日、18日)。また、秋の街あかりイベントに合わせて夜間に特別開館し、本陣座敷部・楽座館等で影絵の演出を行った(11月1日、2日)。	0	C	若年層を含めた多くの来館者が得られたため、継続して実施する。	新型コロナウイルスの感染防止対策を考慮し、雨戸を完全に閉めきる必要がある影絵の上映は縮減し、座敷内のライトアップ等、雨戸を開放する開館とする。	0
67	本陣楽座・伝統文化に触れるワークショップ事業	史跡草津宿本陣	上方落語協会所属の落語家が出演する月一回の「本陣楽座 落語会」、年一回の「本陣楽座 落語会 特別版」、和楽器の演奏会「本陣楽座 和音会」を開催。	828千円	C	本陣を利用した伝統文化の鑑賞・体験は人気が高く、リピーターの確保だけでなく、市内外の人々の来館にもつながっており、引き続き広く普及啓発を行っていくため、継続して実施する。	新型コロナウイルスの影響により中止する回もでていたが、特別回の開催等も検討し昨年度と同程度の開催を目指す。	813千円	

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
文化資産の継承および活用	68	本陣四季彩々事業	史跡草津宿本陣	夏の本陣「夏休み！クイズラリー」、秋の本陣「ほんじん de アート！」、冬の本陣「年のはじめ」、春の本陣「桃の節句と和のつどい」、特別展「本陣職はつらいよ～佐土原藩主急死事件とその後～」を開催。各回、美術品や生け花などの設え、展示、ワークショップなどをそれぞれ開催した。	144千円	C	若年層を含めた多くの来館者が得られたため、継続して実施する。	1期ごとにチラシを作成し、各期における本陣の魅力を発信するとともに、講師招致回数を増加してイベント内容の充実を図る。	201千円
	(19)	〔再掲〕ロジウラテラス	生涯学習課	街道の路地裏に集まるお寺4カ所を舞台に、ワークショップやライブなどの参加型アートプログラムを実施した。また、ロジウラクエスト(謎解きラリー)も同時に開催し、同エリアの回遊性を高めた。	アートフェスタに含む	C	多くの来場があり、事業効果があると考えられるため、今後も寺院の立地を活かした文化体験の機会を提供できるよう、事業を継続する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。	アートフェスタに含む
	(23)	〔再掲〕青花紙担い手セミナー	草津宿街道交流館	草津あおばな会と共催で「あおばな紙担い手セミナー」を実施し、青花紙生産農家・滋賀県立湖南農業高等学校の指導を受けながら、アオパナの栽培や青花紙の生産について、一般の方に学んでいただいた。	0	C	文化的資産の担い手を育成することが必要であることから、継続して実施する。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止	0
	(25)	〔再掲〕キッズシネマ塾	生涯学習課	一般社団法人草津に美しい文化芸術を育む会へ委託し、草津の歴史文化、産業などを題材に、小学生が本物の機材を使用した映画撮影に携わる「キッズシネマ塾」を開催した。2日間にわたり開講し、受講者には、映画づくりを通して、湖上交通と風の神様をまつ市内の神社や文化財について学びを深めてもらった。また、後日、上映会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	1,242千円	C	受講した子どもたちからは好評の声をいただいており、草津の文化や歴史を学ぶ機会を提供できるため、今後も継続して事業を実施する。	今年度は草津の竹の歴史をテーマにキッズシネマ塾を開講する。	1,265千円
	(26)	〔再掲〕市民創作ミュージカル	文化ホール	クレアホール開館5周年記念として、市民から募集した原案を元に、宝塚歌劇団演出家が脚本を書きおろし、演出したミュージカルを企画。活動期間中は、平和記念のつどい、ピワアートコレクション等の市関係イベントに参加する他、滋賀県主催のBAFにも参加した。 ※本公演は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期。	6,424千円	C	単にミュージカルを発表するだけでなく、草津を紹介し、まちづくりに参加するチームとして育成しており、地域のイベントからのオファーが絶えずニーズがあることから、継続して実施する。	前年度に延期した『草津みずの森エクスプレス～ここはクレア高原～』公演を実施するとともに、5期生も募集する。活動は、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら工夫して安全に行う。	6,973千円
	(29)	〔再掲〕教育プログラム事業	草津宿街道交流館	本陣四季彩々で子ども向けクイズラリー、競技かるた体験を開催したほか、草津まちづくり株式会社と共催でリアル謎解きイベント「草津宿本陣調査隊」を行った。また、イオンモールでのBIWART COLLECTION、「アートフェスタくさつ」などの外部イベントにも出展した。	0	C	地域の歴史文化に親しんでもらうため、引き続き、子ども向け事業を実施していく。	引き続き、他事業と関連して子ども向けにもイベント企画・普及啓発を行っていく。	0
	(40)	〔再掲〕草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校(14校)5、6年生および中学校(市立6校、私立1校)全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一句投句してもらった。小・中合わせて入賞作品100句には、賞状を贈り、さらに、優秀作品については記念品を贈った。また、10月下旬に市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表した。	237千円	C	学校を通じて投句を募集することで、多くの子どもたちからの応募があり、ふるさと意識の醸成や国語教育の充実につながっていることから継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	264千円
	(44)	〔再掲〕博学連携事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館、史跡草津宿本陣への学校単位での見学を受け入れ、テーマ展に関連する出前授業を開催した。また、中学校職場体験を受け入れた。	0	C	引き続き、学校教育の中で市の歴史資産を活用してもらうため継続して実施する。	前年に引き続き、学校単位での見学を受け入れるほか、コロナウイルス感染防止の観点から、対面でない方法での情報発信を検討する。	0
	(50)	〔再掲〕草津宿場まつり	商工観光労政課	本市の春のイベントとして定着しており、宿場町・草津を市内外にアピールする効果が得られているため、引き続き継続して実施する。	13,500千円	C	本市の春のイベントとして定着しており、宿場町・草津を市内外にアピールする効果が得られているため、引き続き継続して実施する。	4第52回草津宿場まつりの開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催を中止することが草津宿場まつり実行委員会の中で決定した。新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり次第、第53回草津宿場まつり開催に向け、実行委員会の中で検討していく予定である。	13,500千円
	(51)	〔再掲〕草津街あかり華あかり夢あかり	商工観光労政課	あかり銀河、あかりART展、陰影礼賛、トワイライトコンサートなどの各種取組を実施した。	3,300千円	C	秋の風物詩として定着しつつあるイベントで、普段とは違ったまちの景色を楽しみながら、地域の魅力を再発見し、愛着を持ってもらうことで地域ならびに商店街の活性化に繋げるため、継続して実施する。	今後、実行委員会の中で事業計画等検討していく	3,300千円
	(52)	〔再掲〕草津版ヘルスツーリズム実証事業	商工観光労政課	本市における着地型観光の商品化を目指し、市内事業者が参画して8つの商品を造成し、観光資源の発掘・磨き上げを行った。8つのうち3つは事業を実施したが、5つについては新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業実施を見送った。	4,000千円	B	造成する商品を増やしつつ、将来的に草津市観光物産協会が運営主体となって事業が継続して実施できるよう、商品造成および観光資源の磨き上げを行い、運営体制を整える。	これまでは民間事業者へ委託業務として発注をしていたが、令和2年度からは草津市観光物産協会が主となり商品を造成し、造成する商品を8から20に増やすことで、更なる観光資源の発掘・磨き上げを行う。	576千円
	(53)	〔再掲〕出会いバス運行事業	商工観光労政課	常盤まちづくりセンターを発着地とし、周辺の観光スポットや藤を見ることが出来る巡回バスの運行を行った。	382千円	B	滋賀県が実施している戦国ワンダーランドとの連携や、歴史文化財課と連携して取り組むことにより更なる観光客の誘致を検討する。	R1に実施した内容を踏まえ、運行するコースの見直し、滋賀県が大型キャンペーンとして実施している「戦国ワンダーランド」と連携など模索したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった。	382千円

基本施策	No.	事業名	担当課	R1		今後の取組	左記の理由	R2	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
	(55)	[再掲]草津小市	都市再生課	農家や生産者直売の野菜、米、卵、豆腐のほかに、作家の木工カトラリー、アクセサリなどの販売を行った。また、しめ縄づくりや食のワークショップを行い、東海道草津宿の歴史話などをえふえむ草津でラジオ生放送した。	831千円	C	昨年度も好評であり、本陣周辺エリアにおける賑わい創出に寄与しているため、イベント内容の精査を行いながら、継続して実施予定。	出店者やイベント内容の精査を行う。	800千円

既存事業	A	4事業	(拡大)
	B	9事業	(強化)
	C	41事業	(継続)
	D	3事業	(縮小)
	E	6事業	(廃止)
	計	63事業	
新規事業	-	5事業	